

事務所からのお知らせ

● 平成23年度公共建築の日イベントを開催致しました。

平成23年11月10日、静岡営繕事務所では、建築に対する知識を深めていただくとともに、公共建築を広く理解していただくため、建築を学んでいる専門学校生を対象に、「官庁建物の耐震に関する講習会、施設見学会」を「公共建築の日」の記念イベントとして静岡国道事務所と合同で開催しました。

冒頭、静岡営繕事務所長より、「公共建築の日」の由来について紹介し、これから説明する耐震の考え方や整備事例について、今後に生かして欲しいとの話がありました。

講習会では、静岡営繕事務所より、過去の耐震被害の状況や建築基準法の改正の歴史、官庁建物の耐震の考え方と耐震工法や既存建物の耐震補強工法について、具体的な整備例を紹介しながら説明を行いました。引き続き、静岡国道事務所より、平成23年8月に発生した台風12号で大きな被害を受けた被災地における、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の活動について、実際に被災地に派遣され復旧支援を行った活動について写真を見て頂きながら紹介しました。

その後、施設見学として、会場である静岡国道事務所に設置された免震装置（地下部分）の見学や、展示コーナーにて耐震についてまとめたパネルの説明、合わせて国土交通省の業務を少しでも理解していただくため、静岡国道事務所の「道路情報センター」を見学いただき、管内一般道路の管理体制や防災体制について説明を行いました。

最後の質疑応答では、生徒より「普段勉強している内容を実際に目で見ることによりとても理解が深まった。これらの経験を社会に出た時に必ず生かしていきたい」との感想を頂きました。

見学会の後に行ったアンケートにおいても、講習会、見学会に参加できて良かったとの意見を多く頂き、また報道関係者2社にも取材を受けるなどの成果を得ました。



会場全体の様子



静岡営繕事務所長の挨拶



講習会の様子



免震装置の説明



道路情報センターでの説明



展示コーナーでの説明



生徒からの質疑応答



見学会終了後も質問に答える様子



静岡新聞からの取材を受ける様子①



静岡新聞からの取材を受ける様子②